livemedia-creatorでエラー「The RHSM DBus API is not available.」が表示される

おそらく一部の構築エンジニアを除いて、カスタムISOイメージを作成するシチュエーションは
あまり無いと思うが、備忘録として残しておきます。

【対応策】

Rocky Linuxの場合、
livemedia-creator の引数に、**--anaconda-arg="--product Rocky Linux"** を付け加える

【環境/手順】

参考サイト https://github.com/lunatilia/el8-livemedia-japanese

※ 手順はほぼサイト通りですが、イメージを作成するOSのバージョンでエラー発生。
Rocky Linux 8.4
では、ソフトウェアの選択で「Server(GUI)」では成功。「最小限インストール」や「Server」はエラー発生。
Rocky Linux 8.6, 8.7では、「最小限インストール」や「Server」「Server(GUI)」エラー発生。

エラー内容(抜粋)

エラーメッセージは次のとおりです:
The RHSM DBus API is not available.

インストーラーを終了します。

最初は、イメージ作成専用のサーバーを、Rocky Linux 8.4 ソフトウェアの選択で「Server(GUI)」で構築し、
dnf -y update で、一気に8.7最新まで上げて作っていたが、以下の記事を見つけて試したらエラー回避できた。

https://bugzilla.redhat.com/showbug.cgi?id=2034601

バグとして報告されているようだが、記事内に以下の発言があった。

「try running livemedia-creator with --anaconda-arg="--product CentOS Linux"」

この発言通りに実行したら、ISOイメージが作成出来て、そのISOイメージを使って、VMware上では起動出来た。
この方法が正しいのかどうかまでは不明。

(1) イメージ作成専用のサーバーを準備する。

・ VMware WorkStatioinで構築
・ Rocky-8.7-x8664-minimal.iso を利用
キーボード ： 日本語
言語サポート： 日本語
時刻と日付 ： アジア/東京 タイムゾーン
ソフトウェアの選択： 最小限のインストール
インストール先： 適当に
ただ、イメージ作成で中間ファイル・完成ファイル等で空き容量不足にならない程度。
著者の場合は、仮想ディスク 20GB (SWAP 2GB / で18GB)
※ ホスト名とIPアドレスの設定は、インストール完了後に実施

(2) イメージ作成専用サーバーの諸設定

(2-1) コンソール画面より、
・ IPアドレス設定
・ ホスト名設定

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:13
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/38/ja/livemediacreatorでエラー「the-rhsm-dbus-api-is-not-available」が表示される.html

(2-2) OSを最新にしておく。
dnf -y update

(2-3) selinuxをdisabledに
vi /etc/sysconfig/selinux

OS再起動する

(3) イメージ作成の為のインストール

dnf -y install git lorax-lmc-novirt

OS再起動

(4) ISOイメージ作成

git clone https://github.com/lunatilia/el8-livemedia-japanese
cd el8-livemedia-japanese
mv samples/rocky8live-builder .
vi rocky8live-builder

・ --anaconda-arg="--product Rocky Linux" を付け加える
・ 8.3 -> 8.7 に変更

--- 抜粋 ---
livemedia-creator \
--ks ${kickstart} \
--no-virt \
--iso-only \
--make-iso \
--nomacboot \
--volid RockyLinux-8 \
--iso-name "Rocky-8.7-x86_64-LiveGNOME.iso" \
--title "Rocky Linux Live 8.7 (JP)" \
--project "Rocky Linux Live" \
--releasever "8\.7\ \(JP\)" \
--fs-label "Rocky-8-7-x86_64" \
--extra-boot-args noswap \
--tmp ${temp} \
--resultdir ./${resultdir} \
--logfile ${logdir}/${logfile} \
--anaconda-arg="--product Rocky Linux"

(5) 実行する

./rocky8live-builder kickstarts/rocky-8-live-gnome.cfg

今回は、
el8-livemedia-japanese の kickstartファイルを利用しましたが、
kickstartファイルを自分好みに作成すれば良いと思います。

添付ファイル::

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:13
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/38/ja/livemediacreatorでエラー「the-rhsm-dbus-api-is-not-available」が表示される.html

一意的なソリューション ID: #1037
製作者: n/a
最終更新: 2023-04-19 22:57

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> ¦ 2026-11-22 23:13
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/38/ja/livemediacreatorでエラー「the-rhsm-dbus-api-is-not-available」が表示される.html